



秋まき小麦の雪腐病の防除時期がやってきました！

根雪直前の防除が効果的です。

根雪始は、概ね12月中旬です（表1）。

雪腐病の防除から根雪までの期間が長いときは防除効果が低下するため、なるべく根雪始に近い時期の防除を心掛けてください。

特に「ゆめちから」は、雪腐病に対する抵抗性が「中」と「きたほなみ（やや強）」より弱いので、雪腐病防除を確実に実施してください。

表1 過去10年間の根雪始日（長期積雪初日：帯広測候所調べ）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	10年平均
根雪始日	11/28	12/3	12/24	12/6	11/18	12/6	12/2	1/7	1/2	12/17	12/11

〈各薬剤の効果と残効の目安〉

表2は、降水量による各薬剤の残効の目安を示しています。

薬剤の病害別の残効と再散布の要否を判断する目安として活用できます。

根雪始に近いほど防除効果は高くなりますが、表2の薬剤は、根雪直前より早期に散布することができます。

また、薬液が乾かないと降雨や夜露で流れやすいので、なるべく天気の良い日中に処理してください。

薬剤散布以降に各薬剤の残効の目安を超える降雨があった場合は、雪腐病の再防除を検討しましょう。

表2 各薬剤の適用病害と残効の目安（2013年 道立農試）

番号	薬剤と倍率	使用時期	使用回数		適用病害と残効の目安			
					大粒	黒色小粒	褐色小粒	紅色
1	フロンサイド水和剤 (1,000倍)	根	2	適用病害	○	○	○	○
				効果低減・再散布の目安	積算降水量 120mm 日最大降水量 65mm	120mm 65mm	150mm —	目安なし
2	シルバキュアフロアブル (2,000倍)	雪	1	適用病害	×	○	○	×
				効果低減・再散布の目安	積算降水量 100mm 日最大降水量 40mm	100mm 40mm	85mm —	
3	トップジンM水和剤 (2,000倍)	前	3	適用病害	○	×	×	×
				効果低減・再散布の目安	積算降水量 80mm 日最大降水量 40mm	80mm 40mm		

注1：再散布は表2の降水量を参考にしてください。

2：積算降水量は、散布から根雪までの期間の降水量を指します。

3：日最大降水量は、散布から根雪までの期間内で、最も降雨の多かった日の降水量を指します。

4：フロンサイドSCの残効の目安はフロンサイド水和剤と同等です。

肌寒くなってきましたが、焦らず安全第一で作業しましょう！